

## 「漢方の将来ビジョン 2040」を発表

2018年7月20日(金)、KKRホテル大阪において理事会に引き続いて行われた記者発表の席で日漢協がかねてより策定を進めていた新たなビジョンである「漢方の将来ビジョン2040」が公表された。



会場には猛暑の中、経済紙、業界紙など6社の記者が集まった。

初めに加藤会長から、新ビジョン策定に至った経緯、国民の健康と医療に貢献するために漢方製剤をこれからも安定供給し続けるうえで解決すべき課題とその解決に向けた決意が示された。改めて報道関係、国民に漢方製剤の現況に理解と声援をお願いしたい旨のメッセージが伝えられた。



【加藤照和 会長】

「漢方の将来ビジョン2040 ～国民の健康と医療を担う～」本編と概要は[こちら](#)から

続いて、漢方将来ビジョンプロジェクトの坂上リーダーによる概略の説明ののち、質疑応答が行われた。

出席した記者からは、

「厚労省における伝統医学専門部署設置について」

「中長期的に見た生薬価格の動向予測」

「8つのビジョンの中の優先順位」

などについて質問が寄せられた。



【坂上誠 プロジェクトリーダー】

加藤会長は、専門部署については

日漢協からも要望しているとしたうえで

「専門部署は医政局経済課が窓口となり、

必要に応じて別の部署に橋渡しをする」

などの回答が得られていることを説明した。

また、2040年に高齢者人口がピークを迎える

ことを念頭に、

「多くの診療ガイドラインに基づいて漢方製剤を

処方していただくためにも、

エビデンスの集積が最優先課題」と回答し、会見は約45分で終了した。



## 漢方の将来ビジョン 2040 ～ 国民の健康と医療を担う ～

ビジョン1	産官学連携のもと、科学的エビデンスをさらに集積し、医療における漢方製剤等の有用性をより一層確立していきます
ビジョン2	原料生薬の必要量の確保に努めます
ビジョン3	原料生薬から最終製剤までの品質管理を強化し、高品質な漢方製剤等を安定供給していきます
ビジョン4	医療用漢方製剤の新剤形の開発や効能拡大に関する研究などを推進し、漢方製剤など多成分系医薬品の承認申請ガイドライン策定に協力していきます
ビジョン5	一般用漢方製剤および生薬製剤の開発を推進し、市販後の情報提供を強化していきます
ビジョン6	会員会社のコンプライアンスと漢方製剤等の品質管理、安全管理をさらに強化し、信頼性を一段と高めます
ビジョン7	地球環境や生物多様性の保全、野生動植物の保護に貢献するとともに、自然の恵みである生薬を通じて、国際展開に積極的に取り組んでいきます
ビジョン8	国民とのアウトリーチ活動の充実を図り、関連諸団体、学会、研究機関、行政等とのコラボレーションを強化します